

ナンバリング	B③03	科目名	保育実習指導 I
担当形態	複数	担当教員	久保 瑤子・古賀 琢也 小木曾 友則・中嶋 一郎
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・③・④		
テキスト	「保育所保育指針解説」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館		
開講時期	通年	単位数・ 授業形態	2単位 演習
到達目標	保育所・福祉施設において、子どもや利用者の状況を知り、適切な援助を行うための準備をし、実習後に実習体験のまとめを行うことで、自身の体験を省察し反省的な実践を行う素地ができる。		
授業の概要	<p>実習は、本学のあらゆる教科と深く関連する最も中心的な科目です。特に保育実習 I では、1年次の保育や社会福祉に関する学びを実践する貴重な機会となります。本科目は、この保育実習 I のための事前・事後指導であり、実習の事前に受ける指導のほか、実習後の指導までが含まれます。</p> <p>&lt;事前指導&gt;</p> <p>実習で学ぶためには、その前提となる、基本的な生活習慣や立ち居振る舞いも大切になります。加えて、現場で学ぶために必要な知識や技術について学びます。</p> <p>事前学習においては、全体での基本的な展開に加え、学生それぞれの達成段階に応じた授業プログラムの設定を行うほか、実習に不可欠な知識や技術の習得(試験等によって確認)をします。</p> <p>&lt;事後指導&gt;</p> <p>実習後の振り返りは、自身が実習を通して何を見て何を感じ、目の前の子どもとどのように関わり、なぜそのように考えたかなどについて、実習の記録や体験を基に仲間同士で振り返り、実習で学んだことをまとめます。</p>		
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 実習をすること(実習の意義) 第3回 障害者スポーツ大会について 第4回 障害者スポーツ大会への参加 第5回 障害者スポーツ大会のふりかえり 第6回 実習に向けての手続き等①、実習におけるマナーと振る舞い 第7回 子どもの生活と理解、保育士の職務の理解 第8回 利用者の生活の理解、施設職員の職務の理解 第9回 手遊び等と絵本の活用(保育内容と共に学ぶ) 第10回 実習記録について① エピソード記録 第11回 子どもの人権と最善の利益・プライバシー保護と守秘義務		

	<p>第12回 乳児保育体験について</p> <p>第13回 後期オリエンテーション(実習での学びについて)</p> <p>第14回 乳児保育体験の振り返り①</p> <p>第15回 乳児保育体験の振り返り②</p> <p>第16回 保育所・施設の役割</p> <p>第17回 社会福祉施設ボランティアについて</p> <p>第18回 実習に向けての手続き等②</p> <p>第19回 保育所保育指針・保育制度等の理解①</p> <p>第20回 保育所保育指針・保育制度等の理解②</p> <p>第21回 実習記録について② 記録と省察</p> <p>第22回 実習の目的・心構え(実習の手引きを活用して)</p> <p>第23回 実習における計画と実践</p> <p>第24回 先輩の実習体験を聴く(保育所、施設)</p> <p>第25回 保育園職員、施設職員の話</p> <p>第26回 先輩の実習体験を聴く(グループディスカッション)</p> <p>第27回 これまでの学びの確認と実習の目標の設定</p> <p>第28回 事後指導① ～実習の総括と自己評価(施設)</p> <p>第29回 事後指導② ～実習の総括と自己評価(保育所)</p> <p>第30回 事後指導③ ～自己課題の明確化</p>			
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に各自が設定した準備課題の実施(30分以上)</li> <li>・これまでの実習記録の見直し、修正(30分以上)</li> </ul>			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内課題 — 10%</li> <li>・保育体験やボランティアへの取り組み状況 — 20%</li> <li>・事後学習の際のふり返りのレポート — 30%</li> <li>・保育所保育指針等の試験 — 20%</li> <li>・実習記録の課題 — 20%</li> </ul>			
参考文献	<p>「保育所保育指針」厚生労働省</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府</p>			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての授業に出席することが求められます。</li> <li>・実習が不十分で単位が認定されない場合、実習指導も合わせて認定されません。</li> <li>・単位を修得出来ない場合、次年度の保育実習Ⅱ、Ⅲ及び保育実習指導Ⅱ、Ⅲは履修できません。</li> </ul>			
課題へのフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題については、翌週の授業で、全体へコメントをフィードバックします。</li> </ul>			
卒業・免許状・資格との関連	卒業	幼稚園教諭免許状		
	その他	保育士資格	必修	保育実習

実務経験のある教員 等による授業内容	<p>(古賀)保育所・こども園での勤務経験を活かし、実践現場での具体的事例を交えながら、実習に臨むための学習や課題について実践的な授業を行う。</p> <p>(小木曾)保育所及び幼保連携認定こども園で保育士として実習生を受け入れた経験を踏まえ、具体的な事例を提示しながら、事前指導で実習の意義及び実習内容と課題の明確化、実習の留意事項、記録の作成方法などの指導を行う。事後指導では、記録をもとに実習の総括を行う。</p>
-----------------------	--